


エコアクション21 環境レポート

活動期間（2015年4月～2016年3月）

 九州オリエント測量設計株式会社

2016年6月1日発行

目 次

1. 会社概要	1
2. 環境方針	3
3. 環境負荷及び取組への自己チェック	3
4. 環境目標対実績	4
5. 環境活動計画と取組結果	7
6. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	8

1. 会社概要

(1) 会社概要

社名	九州オリエント測量設計株式会社 (キューシュウオリエントソクリョウセツケイカブシキガイシャ)	
設立	1967年(昭和42年)10月18日	
本社所在地	〒850-0022 長崎県長崎市馬町55番地	
	TEL : 095-821-5656 FAX : 095-823-4420	
	URL : http://www.kyushu-orient.co.jp/	
資本金	30,000,000円	
役員	代表取締役社長	中島 靖人
	常務取締役	中村 好興
理事	理事	平野 明
		松原 一則
環境管理責任者	設計部課長	口石敏政
	連絡先	E-MAIL : t-kuchiishi@kyushu-orient.co.jp
加入団体	(社)日本測量協会 (社)日本補償コンサルタント協会 (社)長崎建築設計事務所協会 (社)全国防災協会	
登録一覧	建設コンサルタント	建23第5830号
	補償コンサルタント	補25第2338号
	測量業者	(10) -8408号
	地質調査業者	質24第2066号
	一級建築士事務所	第127027号
職員数 (2015年4月)	技術系	40名
	事務系	16名
	計	56名
売上高 (2014.10~2015.9)	390百万円	
延床面積	本社	983m ²
	諫早営業所	324m ²

(2) レポートの対象期間

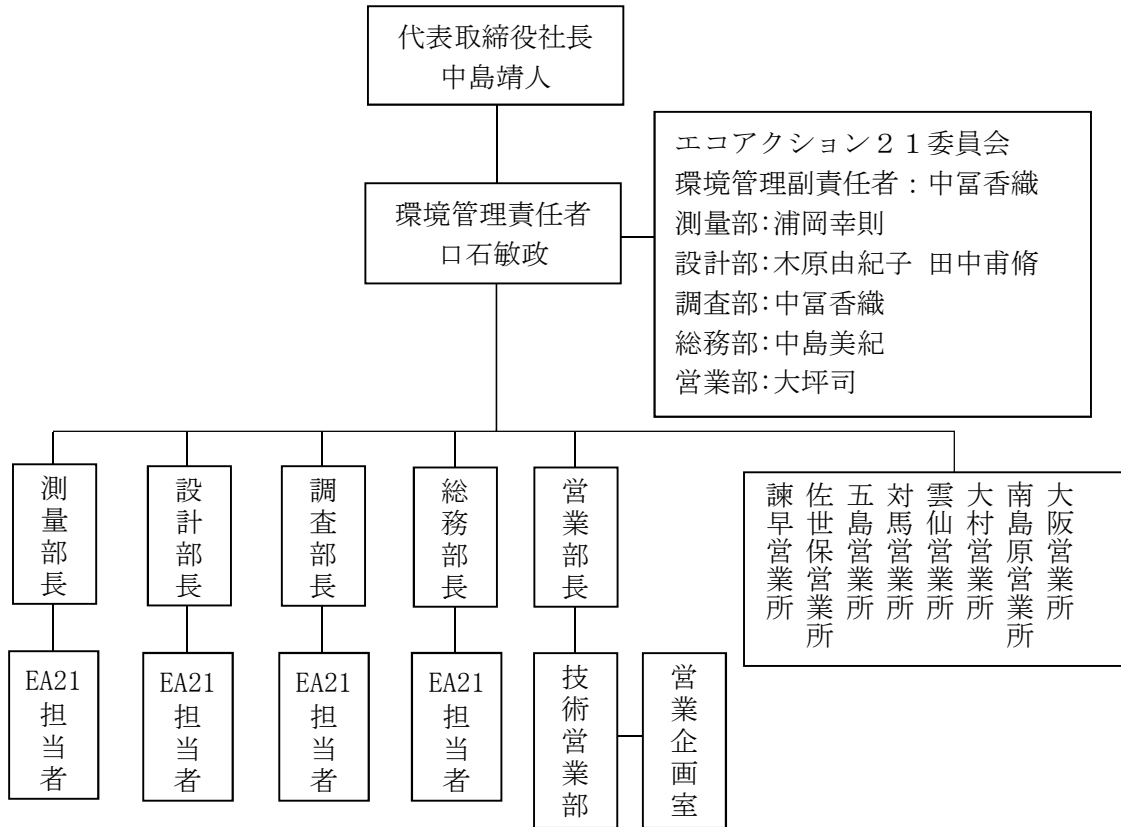
(2015年4月~2016年3月)

(3) 認証・登録範囲

本社、諫早営業所並びに他の事業所を対象範囲とする。

(4) エコアクション 21 の社内体制

当社のエコアクション 21 の社内体制は、以下のとおりとする。



担当者	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び従業員へ周知 環境目標、活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を作成 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックのまとめ 環境目標、活動計画書、年間教育・訓練計画の作成 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
エコアクション 21 委員会 (EA21 担当者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標並びに活動計画書原案の作成 所属部門に対する、教育訓練の実施 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 問題点の発見、是正、予防処置 内部コミュニケーションの窓口
各部部長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 自部門の問題点の発見、是正、予防処置のエコアクション 21 委員会へ報告
社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境方針

(1) 基本理念

私どもは、コンサルタントとしての活動の中で、事業の効率化並びに無駄の排除に取り組むことで、自主的、積極的に持続可能な社会の構築に寄与するとともに、環境負荷の低減に努めます。

(2) 行動方針

- 1) 二酸化炭素排出量を削減する（電気使用量、ガソリン、灯油等の使用量削減）
- 2) 廃棄物の削減を推進する
- 3) 総排水量の削減を推進する
- 4) グリーン購入を推進する。
- 5) 環境に配慮した設計を行う。
- 6) 環境関連法規や当社が約束した方針は、遵守する。
- 7) 環境方針は全社員に周知する。

2013年6月1日作成

長崎県長崎市馬町55番地

九州オリエン特測量設計株式会社

代表取締役社長 中島 靖人

3. 環境負荷及び取組への自己チェック

(1) 過去3年間（2013年～2015年）の実績

4月～翌年3月

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	59,882	49,864	47,201
電力	kWh	55,514	45,919	45,720
ガソリン	リットル	11,998	9,394	8,775
灯油	リットル	1,156	1,584	1,134
一般廃棄物	kg	920	1230	1160
水使用量	m ³	449	350	357

注)2013年度の一般廃棄物実績値は、2013.6月から10ヶ月間の実績値である。

(2) 環境への取組の自己チェック

総合評価

165	202
-----	-----

2016年4月作成

	評価項目	評価点	満点	実施率
1	事業活動へのインプットに関する項目	107	122	88%
2	事業活動からのアウトプットに関する項目	38	48	79%
3	製品及びサービスに関する項目	14	22	64%
4	その他	6	10	60%

4. 環境目標対実績

(1) 環境目標

環境目標項目		単位	2013年度 基準値 通年	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素排出量削減	総量		59,882	59,403	58,984	58,505
	kg-CO2/日		221	220	227	225
	削減率		-	-0.8%	-1.5%	-2.3%
電力量削減	総量		55,514	54,958	54,403	53,848
	kWh/日		205	203	209	207
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
ガソリン使用量削減	総量		11,998	11,938	11,878	11,818
	リットル/日		44.3	44.1	45.7	43.6
	削減率		-	-0.5%	-1.0%	-1.5%
	燃費		15.6	15.68	15.76	15.83
	向上率		-	0.5%	1.0%	1.5%
灯油使用量削減	総量		1,156	1,150	1,144	1,139
	リットル/日		4.27	4.26	4.40	4.38
	削減率		-	-0.5%	-1.0%	-1.5%
廃棄物排出量削減	総量		1,095	1,084	1,073	1,062
	kg/日		4.04	4.02	4.13	4.09
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
総排水量削減	総量		449.0	448.6	448.1	447.7
	m3/日		1.700	1.661	1.723	1.722
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
グリーン購入 の推進	環境対応品を導入する	品目	不明	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入
	名刺や会社パンフは再生品を活用	品目	未着手	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	実績	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
稼働日数		日	271	270	260	260

注1) 電力の排出係数は、九州電力のH24年度排出係数:0.525を用いる。

(2) 環境活動計画

目標項目		目標値	達成年度	活動内容	備考
CO ₂ 排出量削減	電力量削減	3%/3年	2016年度	昼休み時の電気消灯。	
				洗面所未利用時の消灯。	
				階段照明のこまめな消灯。	
				残業時の照明は、必要最小限度とする。	
				個人での電力使用を控える。	
				エアコン設定温度の一定化	
				不要な蛍光灯・電源の取り外し。	
				よしず等で室内への熱遮断	
				室内を仕切り、エアコン効率を上げる。	
				エアコン室外機への熱遮断対策など。	
				外出時はパソコン電源 OFF を徹底。	
				退社前に、プリンター及びコピー機の電源オフ。	
				パソコンの設定を省電力に変更する。	
				社員のエレベータ使用抑制。	
	エアコンの、年二回の清掃（6月及び12月）				
使用燃料削減	1.5%/3年	2016年度	急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。アイドリングストップ。	※	
			長距離移動（県北振興局管内等）の場合、高速道路を利用する。（ETC設置の車に限定）		
			タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。		
			オイル交換を定期的実施する。		
			灯油消費量の抑制		
廃棄物排出量削減	使用枚数削減	3%/3年	2016年度	社内資料はカラーでなく極力白黒にする。	
				印刷前にプレビューして、印刷内容を確認する。	
				コピー機及びプリンターについて、使用枚数を毎月管理し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。	
				古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。	
				古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。	
削減総排水量	水道使用量削減	0.3%/3年	2016年度	飲料水の節水。	
				水洗トイレの節水。	
購入	環境対応品の導入 名刺やパンフレットに再生品を利用		2016年度	環境対応品を導入する。	
				名刺や会社パンフは再生品を活用。	※
環境配慮	環境に配慮した設計を行う。		2016年度	環境に配慮した設計を行う。	
地域貢献	1回/1年	2016年度	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。		

※印の活動内容は、営業所にも適用するものとする（諫早営業所を除く）。

(3) 実績値

環境目標項目	単位	2013年度	2015年度	2015年度	達成率	評価	
		基準値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量削減	総量	59,882	58,984	47,201			
	kg-CO2/日	221	227	182			
	削減率	—	-1.5%	-21.2%	125%	◎	
電力量削減	総量	55,514	54,403	45,720			
	kWh/日	205	209	176			
	削減率	—	-2.0%	-17.6%	119%	◎	
ガソリン使用量削減	総量	11,998	11,878	8,775			
	リットル/日	44	45.7	34			
	削減率	—	-1.0%	-26.9%	135%	◎	
	燃費	15.60	15.76	15.40			
	向上率	—	1.0%	-1.3%	98%	△	
灯油使用量削減	総量	1,156	1,144	1,134			
	リットル/日	4.3	4.40	4.0			
	削減率	—	-1.0%	-1.9%	101%	○	
廃棄物排出量削減	総量	1,095	1,073	1,160			
	kg/日	4.04	4.13	4.46			
	削減率	—	-2.0%	5.9%	93%	△	
総排水量削減	総量	449	448.1	357			
	m3/日	1.700	1.723	1.373			
	削減率	—	-0.2%	-20.5%	126%	◎	
グリーン購入の推進	環境対応品を導入する	品目	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	100%	○
	名刺や会社パンフは再生品を活用	品目	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用	100%	○
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	—	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	—	—
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化	実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	100%	○
稼働日数		日	271	260	260		—

達成率 ◎: 110%以上
○: 109%~100%
△: 99%~90%
×: 90%未満

5. 環境活動計画と取組結果

当社の環境活動計画と取組結果を次に示す。評価は、4段階に分け実施した。

◎良く出来た ○まずまず出来た △あまり良く出来なかった ×全く出来なかった

目標項目	取組項目	達成状況	評価(結果と今後の対策)
CO ₂ 排出量削減	昼休み時の電気消灯。	○	営業部では、昼休みの電気消灯が徹底できていないことから、昼休みの電気消灯を徹底する。
	洗面所未使用時の消灯。	◎	2016年度も継続して実施する。
	階段照明のこまめな消灯。	○	
	残業時の照明は、必要最小限度とする。	○	
	個人での電力使用を控える。	○	
	エアコン設定温度の一定化	○	
	不要な蛍光灯・電源の取り外し。	○	
	よしず等で室内への熱遮断	○	
	室内を仕切り、エアコン効率を上げる。	○	対策済み
	エアコン室外機への熱遮断対策など。	○	
	外出時はパソコン電源 OFF を徹底。	○	2016年度も継続して、実施する。
	退社時に、プリンター及びコピー機の電源オフ。	○	営業部では、退社前に複合機の電源切断を徹底する。
	パソコンの設定を省電力に変更する。	○	2016年度も継続して、実施する。
	社員のエレベータ使用抑制。	○	営業部では、階段利用を徹底する。
	E7コンフィナ、年二回の清掃(6月及び12月)	◎	2016年度も継続して、実施する。
	急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。	○	
	長距離移動(県北振興局管内等)の場合、高速道路を利用する。(ETC設置の車に限定)	◎	
タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。	○	車両管理者に点検徹底を依頼 オイル交換及び空気圧定期点検の励行。	
オイル交換を定期的実施する。	○		
灯油消費量の抑制	○	昼休みにストーブ消灯 部屋に温度計を置き、温度管理	
廃棄物排出量削減	社内資料はカラーでなく極力白黒にする	○	白黒印刷を意識した資料作成
	印刷前にプレビューして、印刷内容を確認する。	○	2016年度も継続して、実施する。
	コピー機及びプリンターの用紙は、コピー用紙の購入枚数を管理し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。	○	月別の枚数管理(箱単位)と消費数を社内へ通知
	古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。	◎	2016年度も継続して、実施する。
	古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。	◎	2016年度も継続して、実施する(総務部で実施中)
削減量排水	飲料用水の節水。	○	水筒の持参
	水洗トイレの節水。	○	
購入	環境対応品を導入する(導入済み)。	◎	2016年度も継続して、実施する。
	名刺や会社パンフは再生品を活用。	◎	
環境配慮	環境に配慮した設計を行う。	○	再生材を使用した設計を実施している。 今後は、発注者と協議の上、環境に配慮した工法や製品を提案する
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。	◎	2016年度も愛護活動を継続し、地域清掃を実施する。

6. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	該当項目	順守状況	確認日	確認者氏名
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条：事業者の責務	○	2016/3/31	口石 (環境管理責任者)
長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	第7条：事業者の責務	○	2016/3/31	口石 (環境管理責任者)
騒音規制法	第14条、第15条：特定建設作業に関する規制	○	2016/3/31	口石 (環境管理責任者)
振動規制法	第14条、第15条：特定建設作業に関する規制	○	2016/3/31	口石 (環境管理責任者)

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、環境に関する外部からの苦情や訴訟は、ありません。

なお、騒音規制法や振動規制法に関しては、設計成果品の施工計画の立案等において、工法・工事用重機等の選定にあたり、当該法規を考慮していることから、掲載しております。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

ea21 活動については、実施2年目を終えた。社員一人ひとりがエコ意識を持って活動してきた成果もあり、電力量、ガソリン使用量、灯油使用量に関しては削減目標を上回り、Co2削減の目標値を上回る成果を上げた。水道水削減等においても、目標値を上回る成果を上げた。廃棄物排出量に関しては目標値を下回ったものの、総合的に見て環境経営システムは適切に運営されている。

2016年の活動においても、現在の環境経営システムを継続するものとする。

2016年6月1日

九州オリエント測量設計株式会社 代表取締役 中島 靖人